

絵金蔵

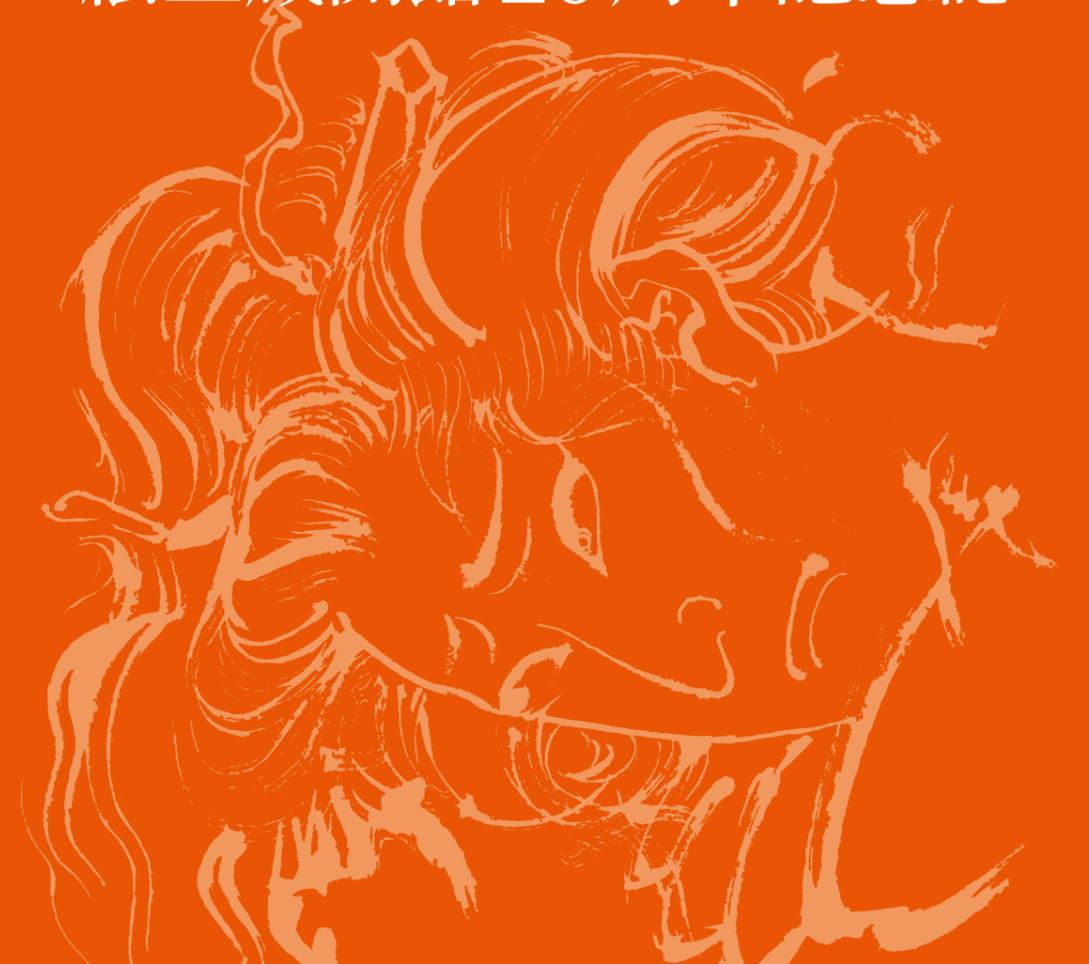
おあ  
か

えきんぐら

20th

anniversary

絵金蔵開館20周年記念誌



発行編集 絵金蔵運営委員会  
発行 令和7年11月

20th  
anniversary

絵金蔵開館20周年記念誌



絵金蔵運営委員会  
会長 浜田 義隆

絵金蔵は本年、開館20周年を迎えることができました。これもひとえに、地域の皆様、そして全国から訪れてくださる多くの来館者の皆様のご支援の賜物と、心より感謝申し上げます。

絵師・金蔵の迫力ある芝居絵を中心に、土佐の文化と歴史を体感できる絵金蔵は、香南市の観光資源としても重要な役割を担ってまいりました。今後も、地域の魅力を広く発信し、観光と文化の融合による持続可能なまちづくりに貢献してまいります。

これからの10年、20年、絵金蔵が人々の心を動かす文化拠点として、香南市の観光振興に寄与できるよう、さらなる挑戦を続けてまいります。引き続きのご支援を賜りますようお願い申し上げます。



香南市  
市長 濱田 豪太

この度、絵金蔵が開館から20周年を迎えられましたことを、心からお祝い申し上げます。皆様の「祭りの文化とともに生きる絵金作品を、未来へ遺したい」という強い思いが発端となり、8年にも及ぶ住民が主体となったまちづくりワークショップなどの行動力により絵金蔵は開館できました。

これまで20年間、「絵金」という文化芸術作品を通して地域を盛り上げるために、住民の皆様が力を合わせ活動されて来ました。

その中心となって絵金蔵の運営に携わってくださった絵金蔵運営委員会の皆様の変わるここのない絵金愛に支えられて、20周年を迎えることができました。絵金蔵に携わる皆様とその活動こそが「地域の宝」であり、深く敬意と感謝を申し上げます。

20周年を新たな出発点として、絵金蔵がこれからも香南市の文化芸術を語る上で欠かせない光として永く輝き続け、広く皆様に愛され続けることを祈念いたしまして、ご挨拶とさせていただきます。



# 絵金蔵の使命

## まもる

年に一度、夏の祭礼の暗闇に現れる絵金の芝居絵屏風。百数十年の昔に描かれたその芝居絵屏風は、祭りの文化とともに生き、今へと受け継がれてきました。しかし、年月を重ね、ずいぶんと傷みが見られるようになった今、まちの人たちは考えました。

「絵金の芝居絵屏風を守りたい！祭りの精神を失わぬまま…」そして、生まれたのが「絵金蔵」です。

## つたえる

闇の中に蠟燭の灯りで浮かび上がる極彩色の芝居の世界。

祭礼の夜を彩る絵金の強烈な赤“血赤”は、邪気を払う魔除けの色として庶民に受け入れられました。そこには、当時の土俗信仰や大衆文化との関わりがうかがえます。絵金の文化が花開く瞬間、そこには何があったのか。当時の絵金観から見える文化があります。

## つなげる

まちの人たちの話し合いから生まれた絵金蔵には、絵金を守るとともに、「まちを元気にしたい」という思いがたくさん詰まっています。

まちの人の憩いの場として、新しい文化発信の場として、「絵金蔵」から生まれる新しい「縁」を紡ぐこと。そして、次の世代へと繋げること。絵金蔵は、そんな縁結びの「場」でありたいと願います。



### 設置目的

弘瀬金蔵、通称「絵金」に関する資料等文化遺産（以下「絵金資料」という。）を収集し、保存、展示するとともに、市民の文化活動の利用に供し、郷土文化の振興に寄与するため、絵金蔵を設置する。

### 沿革

赤岡町内に残る絵金の芝居絵屏風を収蔵・展示する施設の建設構想は昭和の頃からあったが、現在の絵金蔵の具体的な構想となったのは、平成9年から8年間に及ぶ「絵金を核としたまちづくり」事業での住民ワークショップである。このワークショップでは行政・議会・商工会・住民らが集まり、「絵金文化」という赤岡町独自の宝物を生かし、その精神性・風土性を大切にしたいまちづくりの方向性を見出していった。その中でも赤岡町は古い建物に魅力があるということから、昭和初期の古い米蔵を活かした絵金蔵建設へとつながった。設計から展示方法まで住民がかかわり、完成後はこれまでかかわってきた住民で「絵金蔵運営委員会」を組織し指定管理者として運営している。当時、高知県の文化施設では初めての指定管理による運営であった。

### 施設概要

館名	絵金蔵
設置者	香南市
指定管理者	絵金蔵運営委員会
開館	平成17年2月11日
所在地	高知県香南市赤岡町538
主体構造	木造 一部RC
階数	地上2階建て
敷地面積	852.31㎡
建築面積	409.63㎡
延床面積	509.39㎡ (1F:379.68㎡ 2F:108.05㎡ 便所棟:21.66㎡)
施工期間	着工:平成15年10月、竣工:平成16年7月
設計	(株)若竹まちづくり研究所・聖建築研究所
施工	新進・三器特定建設工事共同企業体
電気設備	マルサン電器
機械設備	(有)リビング谷岡設備工業
展示	有限会社 カリノ美工
デザイン	梅原デザイン事務所
受賞歴	平成22年第12回公共建築賞優秀賞受賞

# 絵金蔵

おあ

えきんぐら

絵金蔵は元は昭和4年につくられた米蔵  
ロゴデザインはその米蔵の屋根をイメージ  
デザインは梅原真氏

絵金蔵ついに開館!

# 2005-2006

## 2005 (平成 17 年)

- 1月 赤岡町、日本一小さな町になる
- 2月 「絵金蔵オープン」3日間で1100人の来館者
- 4月 絵金蔵公式ホームページ開設
- 4月 「ウエイノコンサート」南米音楽
- 7月 「入館1万人目セレモニー」
- 7月 「白描展」
- 7月 「土佐山田町所蔵の芝居絵展示」土佐山田町立美術館寄託の芝居絵2点展示  
「絵金語り部講座」芝居絵の見どころ等を解説
- 7月 【ゲストスピーカー】女性とキャリア～未来の私を考えてみよう!
- 8月 マンドリンライブ 高知大マンドリン部OB
- 9月 絵金蔵通信開始
- 11月 「アイリッシュライブ」ショーン・ライアンによるアイルランド民謡



▲開館のテープカットの様子



▲マンドリンライブ



▲2時間だけのほんもの展



▲1周年記念イベント絵金蔵、一周年を祝う日



▲アイルランド音楽とダンスの夕べ

## 2006 (平成 18 年)

- 1月 「白描の中の芝居絵たち」白描と芝居絵レプリカを比較展示
- 2月 「1周年記念イベント 絵金蔵、一周年を祝う日」  
「豆電球ライブ」おきゃくライブ 1周年記念イベント
- 2月 赤岡町閉庁式(会長参加)
- 3月 絵金蔵没後130年記念「2時間だけのほんもの展」
- 3月 橋本大二郎知事絵金蔵来館
- 6月 絵金蔵広報のため理事24万石博参加
- 6月 【ゲストスピーカー・講座】香南市立赤岡中学校 社会人講師  
「絵金語り部講座」闇と絵金の部屋にて芝居絵解説  
「絵金白描展」「蔵の穴から見えるもの」横幟展示、夜間開館  
【ゲストスピーカー・講座】女性とキャリア
- 7月 高知女子大学博物館実習2名の受け入れ
- 8月 「伝の会」長唄ライブ 伝の会主催
- 8月 「あかおカルタ」利用スタート
- 9月 弁天座建設 着工
- 10月 【ゲストスピーカー・講座】高知市立三里中学校 社会人講師
- 10月 「アイルランド音楽とダンスの夕べ」第2回
- 11月 【ゲストスピーカー・講座】高知新聞夜なべ談義(蔵長参加)

2年目で3万人の入館者! 弁天座も開館

# 2007-2008

## 2007 (平成 19 年)

- 2月 「2周年記念イベント 香南市民無料夜間開館」
- 6月 「3万人目記念イベント」
- 7月 弁天座オープン
- 7月 「絵金祭り夜間特別開館」蔵の穴特別展示(春野町笑い絵)
- 7月 「長岡克己クラシックギターリサイタル」
- 8月 町歩きカルタ「あかおカルタ」完成
- 8月 「ギター・マンドリンコンサート」
- 10月 「天守物語」高知城にて屏風絵の展示
- 11月 「南国土佐の忠臣蔵-絵金が描いた芝居絵屏風-」赤穂市歴史博物館
- 11月 「天守物語」弁天座公演 土間ホールにて屏風絵展示(夜間)
- 11月 白描画寄託(香我美町吉川染物店より)
- 12月 「高知県立竜宮城-高知の造形文化展」高知県立美術館  
澤田美枝の町並作品出展



▲弁天座オープン



▲クラシックギターリサイタル



▲天守物語

## 2008 (平成 20 年)

- 1月 「弁天座初笑い」多目的広場
- 2月 「みいはいゆ3周年コンサート」
- 2月 東部地域ボランティア団体・NPO 交流会 in 香南市赤岡
- 3月 香南ライオンズクラブ主催 絵金蔵1日無料開放
- 3月 尾崎正直知事との会合
- 4月 「赤岡絵金屏風保存会」発足
- 5月 高円宮妃絵金蔵にご来館
- 6月 三上クニ「WE THREE TRIO ジャズコンサート」
- 7月 絵金祭り「絵金祭り限定ラベル酒」発売
- 7月 絵金祭り夜間開館 蔵の穴にて香我美町吉川家の横幟を公開
- 7月 「2000年後の美術館プロジェクト PLANET MUSEUM」  
高知県立美術館に協力展示
- 8月 「第2回長岡克己クラシックギターリサイタル」
- 10月 香南警察署で講演(蔵長)
- 11月 「蔵でジャズ vol.2 森澤郁夫 Jazz Harmonica コンサート」
- 11月 絵金おばばこと横矢登志さん逝去
- 12月 「KOCHI キャンドルフェスタ」キャンドルナイト多目的ひろば



▲横矢おばば人形



▲キャンドルナイト

# 赤岡町の芝居絵屏風が県保護有形文化財に 2009-2010

## 2009 (平成 21 年)

- 1月 「祝祭に捧げた夢－絵師金蔵の悦楽と悲哀」香美市立美術館 オープニングイベント 警女唄「葛の葉子別れ」月岡祐紀子 「絵金」講演会 横田恵、鍵岡正謹（岡山県立美術館館長） 「弘法大師御一代記」小角隆幸（高知市安楽寺住職）
- 2月 絵金蔵開館 4 周年 先着 20 名に絵葉書集プレゼント
- 2月 「四国ミュージアム研究会」シンポジウム開催
- 3月 赤岡の芝居絵屏風 23 点が高知県保護有形文化財に指定される
- 4月 県指定報告会 ゲスト青木淳（多摩美術大学准教授）
- 7月 絵金祭り「特別展示」（高知市個人蔵掛軸 2 点、画帖 1 点）
- 7月 入館者 5 万人突破
- 8月 坂東三津五郎さん楽屋訪問（理事・蔵長）
- 8月 弁天座の「桂 かい枝 落語会 with 黒拍子」にあわせバザー開催
- 9月 cafe「道一タオー」7 周年
- 10月 「胡弓で奏でる心の旋律」木場大輔胡弓コンサート
- 11月 「蔵でジャズ Vol.3 Kuni Mikami Trio+Vib コンサート」
- 11月 「エンジンゼロワン」（蔵長参加）



▲ 祝祭に捧げた夢



▲ 四国ミュージアムシンポジウムでの三番唄



▲ 修復バザー



▲ 幟展の様子



▲ 田辺寿男追悼写真展

## 2010 (平成 22 年)

- 1月 「龍馬伝」放送開始
- 1月 「土佐・龍馬であい博」のプレイベント講座「絵金と土佐の幕末文化」
- 2月 絵金蔵開館 5 周年
- 2月 鳩山首相 赤岡町へ（絵金蔵～弁天座～赤岡町歩き）
- 6月 赤岡中学校 一日先生
- 7月 絵金祭り企画展「白描・幟展」
- 7月 熊本市現代美術館企画展「へるんさんの秘めごと」における 絵金屏風絵 5 点の変色事故発生
- 10月 香南市地域雇用創造協議会成功事例研修 近森憲一
- 10月 梅原真「ニッポンの風景をつくりなせ」発売
- 11月 田辺寿男追悼写真展「生命（いのち）の記憶」
- 12月 「土佐民話紙芝居&落語」市原麟一郎 横町商店街
- 12月 「生命（いのち）の記憶 ー田辺寿男追悼写真展ー」ギャラリートーク 中村淳子（高知県立歴史民俗博物館 学芸員）

# 絵金生誕 200 周年を祝う 2011-2012

## 2011 (平成 23 年)

- 2月 絵金蔵開館 6 周年
- 3月 東日本大震災発生
- 7月 赤岡の西川屋オープン  
絵金の描いた幟の展示や、西川屋の歴史資料も展示  
落語などを行う事のできるホール『与楽亭』も完成
- 7月 絵金祭り企画展「白描・絵馬展示」
- 10月 「蔵で JAZZ vol.4 Kuni Mikami×Ekingura」
- 11月 弁天座で開催された『赤岡芸能大会』に合わせてバザー



▲ 赤岡の西川屋オープン



▲ 蔵で JAZZ vol.4 Kuni Mikami×Ekingura



▲ 第 1 回えくらべ展



▲ 絵金生誕 200 年記念式典



▲ 帯屋町アーケード街で行われた狐の嫁入り行列

## 2012 (平成 24 年)

- 2月 絵金蔵開館 7 周年
- 2月 博物館巡回講座 8 「絵金が描いた地震」講師 横田恵
- 4月 「地域支援企画員新任者研修」講演 畠中洋行
- 6月 「あかおか横町ちょこっと市」赤岡町横町商店街
- 6月 第 2 展示室エアタイト展示ケース新設
- 6月 コーナー企画展「絵金 -200 年の想い -」  
エアタイト展示ケース（第 2 展示室）
- 7月 香南市絵金生誕 200 年記念事業  
絵金祭り特別展示「白描・土佐芝居絵屏風展」  
須留田八幡宮神祭で「狐の嫁迎え」行列  
「第 1 回えくらべ復活展」赤岡町本町・横町商店街  
コーナー企画展「絵金 -200 年の想い -」
- 9月 絵金生誕 200 年 記念式典開催 弁天座
- 10月 香南市絵金生誕 200 年記念事業  
「狐の嫁入り」帯屋町アーケード街
- 10月 高知県立美術館「大絵金展 極彩の闇」16 年ぶり大規模展覧会
- 11月 「絵金生誕 200 年記念 絵金とその時代展－闇からの伝承－」  
香美市立美術館主催
- 11月 香南市絵金生誕 200 年記念事業  
「語り継ぐ絵金の物語 - 阿波デコ廻しと土佐の芸能」弁天座
- 12月 香南市絵金生誕 200 年記念事業「200mの巻き寿司」
- 12月 「絵金縦遊伝～月の渚に啼けばよい～」一人芝居 神山てんがい/渦ヨロコ 東京都

第20回 高新大賞受賞!

# 2013-2014

## 2013 (平成25年)

- 1月 第20回「高新大賞」贈呈式 (財団法人高知新聞厚生文化事業団)  
「赤岡絵金屏風保存会」「土佐絵金歌舞伎伝承会」「絵金蔵」合同受賞
- 1月 映画「土竜の唄」撮影のための装飾品としてレプリカの貸出
- 2月 絵金蔵開館8周年
- 3月 「あかおカルタ」リニューアル
- 3月 絵金生誕200年記念事業「土佐琵琶で語る絵金の世界」黒田月水
- 4月 龍馬パスポート参加
- 5月 コーナー企画展「絵金-200年の想い-」
- 7月 絵金祭り特別展示 香南市周辺に伝わる芝居絵屏風を展示  
初出品作品5点を含む7点の芝居絵屏風
- 7月 「第2回えくらべ展」赤岡町商店街
- 8月 「お触れ書」設置 高知工科大学マネジメント学部生制作
- 10月 「はりまや橋商店街」にて初めての絵金「生誕祭」
- 11月 コンサート「クニ三上 at 弁天座」



▲高新大賞贈呈式



▲土佐琵琶で語る絵金蔵の世界



▲えくらべ展



▲絵金屏風絵解説アプリ



▲2014年絵金祭り特別展の様子

## 2014 (平成26年)

- 1月 岡山県立博物館「土佐の水とくらし」にて  
「伊達競阿国戯場 累」(レプリカ)など展示
- 2月 絵金蔵開館9周年
- 3月 「絵金屏風解説アプリ」高知工業高等専門学校生徒の開発
- 4月 コーナー企画展(期間中展示替えあり)  
「初夏の月景画」「芝居絵屏風の裏側」「白描ミニ展示」「新収蔵品展」他
- 7月 絵金祭り特別展示 土佐芝居絵屏風と横幟展示
- 7月 「第3回えくらべ展」赤岡町商店街  
現代作家の屏風16点を絵金屏風と共に町に展示  
来場者と絵金祭り関係者による投票を行い大賞を決定した  
来場者の投票数は2264票
- 8月 「第3回えくらべ展受賞作品展示」第2展示室
- 8月 「絵金へのオマージュ展」南国市のギャラリータマリン館  
前年のえくらべ展の出品作などを紹介
- 10月 「高知しばてん魂(ソウル)レビュー2014」  
高知ゆかりの表現者による魂の宴  
「絵金縦遊伝」一人芝居 神山てんがい 東京都

絵金蔵開館10周年、入館者10万人達成!

# 2015-2016

## 2015 (平成27年)

- 1月 絵金蔵入館者10万人達成!
- 2月 絵金蔵開館10周年記念日 無料開館
- 3月 絵金蔵開館10周年イベント  
「夜間開館」「狐の嫁入り行列」「素浄瑠璃公演」竹本美園
- 3月 「絵金縦遊伝〜漁り火の向こう〜」二人芝居 神山てんがい/上森ひろみ 東京都
- 7月 絵金祭り特別展示 南国市田村で飾られていた芝居絵の展示
- 7月 「えくらべ過去作品展示」高木酒造
- 8月 『幕末土佐の異端絵師「絵金展」』芝居絵屏風レプリカ11点の展示  
場所: 中津万象園・丸亀美術館(ひいな館)
- 9月 市川海老蔵「古典への誘い」弁天座  
香南市歌舞伎でまちおこし実行委員会主催



▲開館10周年記念のチラシ



▲10周年記念イベント 素浄瑠璃公演



▲入館10万人達成!

## 2016 (平成28年)

- 2月 絵金蔵開館11周年記念日 入館者に招待券1枚配布
- 7月 絵金祭り特別展示  
香我美町明日香神社の芝居絵屏風マクリ・吉川家絵馬提灯マクリ展示
- 9月 横町「道-タオ」閉店
- 9月 「見世物大博覧会」大阪府国立民俗学博物館 屏風絵のレプリカ展示

高 知 新 聞

香南市に赴任して3年、多くの住民にお世話になった。中でも忘れられない一人が、赤岡町の絵金蔵で副蔵長を務めていた福原僚子さんだ。

作品の時代背景や庶民文化などを丁寧に解説してくれる頼れる存在。絵金蔵には直接関係がない話でも、「赤岡でこんなことがありますよ」と連絡をくれ、時には取材の橋渡し役になってくれた。地域への愛情がひしひしと伝わってきた。

2月、そんな福原さんの訃報に接した。38歳だった。親交の深かった人に話を聞く中で、地域で受け継がれてきた

福原さん

香南市でもこの3年間で、長年守られてきた伝統行事や祭りのともじびが、いくつかが消えてしまった。高齢化や後継者不足。理由を並べるのは簡単だが、受け継いできた行事をなくした住民の思いにきちんと触れ、伝えることができたのだろうか。大切な事を、最後にあらためて教えてもらった。

(香長・徳澄裕子)

2015年(平成27年)4月14日

## 追悼 福原僚子さん

平成19年1月から平成27年2月まで、8年間にわたり絵金蔵の副蔵長として活躍された福原さん。蔵長の横田恵さんとの二人体制は、歴代最強のコンビであり、今の絵金蔵の礎を築いてくれました。

不慮の事故により38歳という若さで突然に旅立たれたときには、あまりの衝撃と悲しみに言葉を失ってしまい、蔵の時間も止まってしまいました。

あれから10年が経過し、絵金蔵も20周年を迎えることとなりました。貴方のおかげでここまで来ることができました。今、改めて心より感謝いたします。

貴方の人柄をお伝えしたく、高知新聞の徳澄記者のコラムを掲載させていただきます。これからも、ずっと絵金蔵を見守っててください。

修理を終えた5点の芝居絵屏風が帰還

# 2017-2018

## 2017 (平成 29 年)

- 2月 絵金蔵開館 12 周年記念 入館者に「飛び出すミニ屏風」プレゼント
- 4月 「夜桜夜市」絵金蔵夜間無料開館 幕末維新博開催を記念
- 5月 「鶴瓶の家族に乾杯」放送 絵金蔵にも来場した回
- 5月 ワークショップ「オリジナル絵金トートバッグ作り」赤れんが商家
- 7月 夏の特別展「只今、帰りました」展  
7年ぶりに帰って来た5点の芝居絵屏風のお披露目展
- 7月 弁天座にて 鶴瓶さん落語会
- 8月 「昔のお家探偵団&ゆのみでつくる風鈴づくり」  
すてきな町赤岡プロジェクトと絵金蔵の共催
- 10月 「絵金蔵オリジナルラインスタンプ」発売
- 10月 市川海老蔵「古典への誘い」弁天座公演
- 10月 「絵金蔵オリジナルフレーム切手」販売開始  
弁天座の切手も発売、贈呈式も行われた
- 11月 「絵金縦遊伝〜漁り火の向こう〜」二人芝居 神山てんがい/上森ひろみ 弁天座
- 11月 芝居絵屏風の現状の記録として撮影を実施  
東京文化財研究所との共同事業



▲「只今、帰りました」展 第1展示室



▲「只今、帰りました」展 第2展示室



▲オリジナルフレーム切手



▲狐の夜市の様子



▲絵金芝居絵屏風の公開応急修理風景

## 2018 (平成 30 年)

- 2月 絵金蔵開館 13 周年記念 粗品プレゼント・入館料の割引
- 4月 館内多言語化 映像リニューアル
- 5月 「狐の夜市」高知県立美術館「HOME」とのタイアップ
- 7月 絵金祭りにおける学生ボランティアの開始
- 7月 特別展「横のぼり展」
- 7月 小説『絵金、闇を塗る』販売 木下昌輝 赤れんが商家にてサイン会開催
- 7月 夏の特別展「横のぼり展」関連企画  
安村敏信（萬美術屋、板橋区立美術館元館長）特別講演会
- 10月 「絵金芝居絵屏風 公開修理」  
修理の緊急性が著しく高い箇所のみを対象に、10・11月の計6日間絵金蔵で応急修理を公開で実施
- 12月 冬の夏祭り「ロード・オブ・絵金」看板設置 弁天通り・横町通り
- 12月 赤岡中学校 古民家お掃除ボランティア  
すてきなまち・赤岡プロジェクト主催

絵金芝居絵屏風 18 点の本格修理がスタート

# 2019-2020

## 2019 (平成 31 年・令和元年)

- 2月 絵金蔵開館 14 周年記念企画「プレゼントまち歩き」
- 4月 「本格修理」初年度 芝居絵屏風 4 作品搬出
- 6月 夏の特別展 写真展表彰式 闇と絵金の部屋
- 7月 夏の特別展「絵金がならぶ夜」写真展
- 7月 「絵金 PR 動画制作 (自主)」映像制作 KAWARA
- 10月 とさ学びの日ワークショップ  
「暗闇で隠し絵さがし」帯屋町アーケード
- 11月 絵金蔵入館 15 万人目達成
- 11月 ミニコーナー「応急修理の材料と道具展」  
修理で実際に使用するものと同じ材料と道具の展示
- 12月 冬の夏祭り「ロード・オブ・絵金」看板設置・寄付の古布市



▲絵金蔵芝居絵屏風 本格修理初年度の搬出



▲写真コンテスト表彰式

## 2020 (令和 2 年)

- 1月 映画「絵金の息吹」ドキュメンタリー上映会 弁天座
- 2月 絵金蔵開館 15 周年記念企画 入館料割引「プレゼントまち歩き」
- 2月 ヒグチュウコ個展「CIRCUS」絵金を紹介するコーナー 高知県立文学館
- 2月 映画「闇の中の魍魎魎」上映会 闇と絵金の部屋
- 3月 新型コロナ感染対策のため臨時休館 ポラさんも休止
- 4月 分身ロボット「OriHime」を通して、福岡の高校生来館
- 5月 須留田八幡宮神祭での芝居絵屏風展示の中止  
土佐赤岡絵金祭りの開催中止 発表
- 6月 「本格修理」2年目 芝居絵屏風 4 作品搬出
- 6月 「奇才 - 江戸絵画の冒険者たち - 」県外大規模展示へ作品出品  
江戸東京博物館・山口県立美術館・あべのハルカス美術館
- 6月 絵金蔵開館 15 周年記念企画  
「田辺寿男没後 10 年写真展 追憶の赤岡 絵金の町」
- 7月 ふるさと納税総合サイト「ふるさとチョイス」で、  
「新型コロナに負けるな! 「絵金」の町・赤岡町応援特集!!」
- 7月 ホンモノにあえる一ヵ月「絵金屏風の展覧会」闇と絵金の部屋
- 8月 絵金蔵の無料招待券を香南市の小中高生へ配布
- 12月 「赤岡 J I Z O 物語」開催 冬の夏祭り実行委員会主催  
コロナの収束などを願って作った地蔵 300 体以上を展示



▲15万人目のご入館者様



▲闇の中の魍魎魎の上映会の様子



▲屏風絵の展示が中止された須留田八幡宮神祭

コロナ禍を経て3年ぶり絵金祭りの開催！

# 2021-2022

## 2021 (令和3年)

- 2月 収蔵庫改修工事 収納ラック等取り換えと空調の取付
- 2月 絵金蔵開館16周年記念「記念トートバッグ」を数量限定販売
- 2月 分身ロボット「OriHime」東京と海外のお客様が来館
- 3月 「光る」募金箱 高知工業高校専門学校の制作
- 4月 「本格修理」3年目 芝居絵屏風5作品搬出
- 4月 絵金蔵の庭でフラフをあげる
- 5月 須留田八幡宮神祭の屏風絵展示、絵金祭り中止の発表
- 7月 夏の特別展「絵金芝居絵紀行」  
澤田美枝作ミニチュア絵金祭りも展示
- 8月 「赤岡絵金芝居絵屏風お披露目展 2021」本格修理済み8点展示
- 10月 市川海老蔵特別公演「Earth & human」弁天座
- 11月 「絵金御朱印帳」発売 有限会社高知製本



▲収蔵庫改修工事



▲夏の特別展「絵金芝居絵紀行」



▲赤岡の史跡めぐり散策



▲事前予約制で開催された絵金祭り



▲小学生の展示ガイド 齋藤 颯介くん

## 2022 (令和4年)

- 1月 映画「劇場版 どん - GON, THE LITTLE FOX -」の監督と  
ごんのパペット来館
- 1月 絵金蔵開館17周年記念企画  
「あなただけの魔よけの絵を完成させよう」屏風絵のぬりえ募集
- 2月 絵金蔵開館17周年記念日 入館無料
- 3月 南国市にて「洞意筆」六曲一隻の「高砂図屏風」を発見
- 4月 「本格修理」4年目 芝居絵屏風5作品搬出
- 5月 「観光ガイドと歩く 赤岡の史跡めぐり散策」
- 5月 コロナのため中止していた提灯を持つての館内観覧再開
- 6月 しりあがり寿さん来館
- 7月 須留田八幡宮神祭3年ぶりの開催 夜間開館は中止
- 7月 絵金祭り3年ぶりの開催 事前予約制
- 7月 夏の特別展「土佐の夏祭りを彩る芝居絵屏風」  
浅上王子宮の作品・絵金派の白描画も初公開
- 8月 「赤岡絵金芝居絵屏風お披露目展 2022」
- 10月 「絵金少年 さいとうそうすけ作品展」土間ホール
- 10月 「あなただけの消しゴム落款づくり体験」土間ホール
- 10月 絵金生誕210周年記念祭「二日間だけの本物展」
- 10月 絵金生誕210周年記念祭「小学生の展示ガイド 齋藤 颯介くん」

県外で約半世紀ぶりとなる大規模展示！

絵金蔵20周年記念イベントの開催

# 2023-2025

## 2023 (令和5年)

- 2月 絵金蔵開館18周年記念「小学生の展示ガイド」「村岡マサヒロ講演会」  
「未来の絵金コンテスト授賞式・作品展示」
- 3月 絵金生誕210周年記念「狐の夜桜夜市」
- 4月 「幕末土佐の天才絵師 絵金」あべのハルカス美術館
- 4月 「高知 絵金に出会えるガイドブック 2023」発行  
創造広場「アクトランド」、高知県立美術館、絵金蔵共同発行
- 5月 小説「絵師金蔵 赤色浄土」発売 藤原緋沙子
- 6月 クラウドファンディング「絵金屏風絵修復プロジェクト」挑戦
- 7月 夏の特別展「土佐の夏祭りを彩る芝居絵屏風-郡頭神社-」
- 7月 絵金祭り 4年ぶりの通常開催
- 8月 「赤岡絵金芝居絵屏風お披露目展 2023」
- 11月 「ゆるり赤岡体験博」



▲クラウドファンディングに挑戦した高砂図屏風(部分)



▲ゆるり赤岡体験博 歌舞伎体験の様子



▲未来の絵金コンテスト表彰式の様子

## 2024 (令和6年)

- 2月 絵金蔵の来館記念スタンプ設置
- 2月 絵金蔵開館19周年記念「デハラユキノリ・村岡マサヒロ講演会」
- 2月 「第2回未来の絵金コンテスト作品展」
- 3月 「齋藤颯介君 小学生として最後の展示ガイド」
- 3月 赤れんが商家「旧小松家住宅」国の登録有形文化財となる
- 4月 だるま祭り デハラユキノリさん優勝
- 7月 夏の特別展「宵宮を照らす絵馬提灯」
- 11月 「第2回ゆるり赤岡体験博 2024」
- 11月 「幕末土佐の天才絵師 絵金」鳥取県立博物館
- 12月 第29回冬の夏祭り「出張絵金蔵」赤岡中学生によるガイド



▲出張絵金蔵 赤岡中学生によるガイド

## 2025 (令和7年)

- 1月 20周年コラボ企画「エキスタイルプレイバック」土間ホール
- 2月 「絵金蔵開館20周年記念イベント」
- 3月 連続テレビ小説「あんぱん」放送開始
- 4月 「高砂図屏風」修理のため東京へ搬出
- 7月 夏の特別展「土佐の夏祭りを彩る芝居絵屏風 川北大師堂」
- 9月 「幕末土佐の天才絵師 絵金」サントリー美術館



▲絵金蔵開館20周年記念イベント もちばいの様子

# 絵金資料の調査・研究について

## 「絵金資料調査報告書第1集—芝居絵屏風I—」の発刊



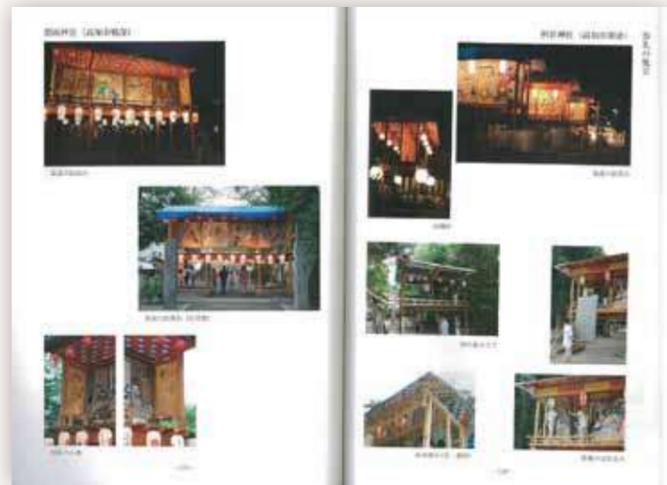
幕末土佐で活躍した絵師・金蔵、通称絵金の作品は高知県教育委員会や高知県立美術館により調査研究が行われてきた。当館においても平成17年に開館して以来、絵金とその弟子たちの作品、及び芝居絵屏風を飾る土佐独特の祭礼について、調査を実地。平成25年には、県下に点在する絵金関連資料の所在情報を記録、集約することを目的に「絵金調査報告書第1集—芝居絵屏風I—」を発行し県内外の関係者に配布した。本資料はそれ以前にない網羅的な調査資料であり、絵金研究の基礎資料のひとつとなっている。

絵金蔵では以降も他の施設、研究者との共同調査、資料提供等を行い、更なる絵金研究発展のため連携を図っている。

### 絵金資料調査報告書 第1集—芝居絵屏風I—

編集 絵金蔵  
 執筆・解説 横田恵・福原僚子  
 発行 香南市・絵金蔵運営委員会  
 発行日 平成25年3月31日  
 印刷 西村謄写堂

香南市絵金生誕200年記念事業の一環として編集・発行。本報告書には絵金蔵が平成17～24年にかけて行った、絵金に関わる資料調査の成果をまとめたものである。平成22～23年の調査は、鹿島美術財団による助成を受けた。



## 絵金蔵 収蔵品一覧

資料名称	形状・素材	点数	指定	所蔵者	受入区分	受入年月日
浮世柄比翼福妻 鈴ヶ森	二曲一隻屏風 紙本着色	1	高知県保護有形文化財	赤岡町本町一区	受託	H26.12.1
鎌倉三代記 三浦別れ	二曲一隻屏風 紙本着色	1	高知県保護有形文化財	赤岡町本町一区	受託	H26.12.1
蘆屋道満大内鑑 葛の葉子別れ	二曲一隻屏風 紙本着色	1	高知県保護有形文化財	赤岡町本町一区	受託	H26.12.1
勢州阿漕浦 平次住家	二曲一隻屏風 紙本着色	1	高知県保護有形文化財	赤岡町本町一区	受託	H26.12.1
源平布引滝 松波校校琵琶の段	二曲一隻屏風 紙本着色	1	高知県保護有形文化財	赤岡町本町一区	受託	H26.12.1
花上野誉石碑 志度寺	二曲一隻屏風 紙本着色	1	高知県保護有形文化財	赤岡町本町一区	受託	H26.12.1
花衣いろは縁起 鷲の段	二曲一隻屏風 紙本着色	1	高知県保護有形文化財	赤岡町本町二区	受託	H26.12.1
菅原伝授手習鑑 寺子屋	二曲一隻屏風 紙本着色	1	高知県保護有形文化財	赤岡町本町二区	受託	H26.12.1
伊達競阿国戯場 累	二曲一隻屏風 紙本着色	1	高知県保護有形文化財	赤岡町本町二区	受託	H26.12.1
木下陸扶間合戦 石川五右衛門	二曲一隻屏風 紙本着色	1	高知県保護有形文化財	赤岡町本町二区	受託	H26.12.1
伽羅先代萩 御殿	二曲一隻屏風 紙本着色	1	高知県保護有形文化財	赤岡町本町二区	受託	H26.12.1
蝶花形名歌島台 小坂部館	二曲一隻屏風 紙本着色	1	高知県保護有形文化財	赤岡町本町二区	受託	H26.12.1
東山桜莊子 佐倉宗吾子別れ	二曲一隻屏風 紙本着色	1	高知県保護有形文化財	赤岡町本町二区	受託	H26.12.1
菅原伝授手習鑑 寺子屋 (よだれくり)	二曲一隻屏風 紙本着色	1	高知県保護有形文化財	赤岡町横町二区	受託	H26.12.1
播州皿屋敷 鉄山下屋敷	二曲一隻屏風 紙本着色	1	高知県保護有形文化財	赤岡町横町二区	受託	H26.12.1
楠昔噺 徳太夫住家	二曲一隻屏風 紙本着色	1	高知県保護有形文化財	赤岡町横町二区	受託	H26.12.1
競伊勢物語 春日野小芳住家	二曲一隻屏風 紙本着色	1	高知県保護有形文化財	赤岡町横町二区	受託	H26.12.1
忠臣二度目清書 寺岡切腹	二曲一隻屏風 紙本着色	1	高知県保護有形文化財	赤岡町横町二区	受託	H26.12.1
義経千本桜 鮎屋	二曲一隻屏風 紙本着色	1	高知県保護有形文化財	赤岡町本町四区	受託	H26.12.1
蝶花形名歌島台 小坂部館	二曲一隻屏風 紙本着色	1	高知県保護有形文化財	赤岡町本町四区	受託	H26.12.1
八百屋お七歌祭文 吉祥寺	二曲一隻屏風 紙本着色	1	高知県保護有形文化財	赤岡町本町四区	受託	H26.12.1
東山桜莊子 佐倉宗吾子別れ (河田小龍)	二曲一隻屏風 紙本着色	1	高知県保護有形文化財	赤岡町本町四区	受託	H26.12.1
伊賀越道中双六 岡崎	二曲一隻屏風 紙本着色	1	高知県保護有形文化財	赤岡町門脇家	受託	H26.12.1
白描	紙本墨画	348		吉川毅	受託	H19.11.8
横幟	横幟 紙本着色	2		吉川毅	受託	H19.11.8
絵馬提灯 (未装)	絵馬提灯 紙本着色	4		吉川毅	受託	H19.11.8
近江源氏先陣館 盛綱陣屋	横幟 紙本着色	1		原 利夫 原 武志	受託	H20.10.29
印章 (8個)		1		高田 洋子	受託	H24.6.2
白描	紙本墨画	7		高田 洋子	受託	H24.6.2
軸	紙本淡彩	4		高田 洋子	受託	H24.6.2
お正月様 (軸)	紙本彩色	1		高田 洋子	受託	H24.6.2
山荘秋景図	小襖 (二面) 絹本着色	1		森 義章	受託	H26.10.15
題名不詳	二曲一隻屏風 紙本着色	1		絵金蔵 (受贈元: 伊都多神社)	受贈	H27.7.2
仮名手本忠臣蔵 大序	二曲一隻屏風 紙本着色	1		絵金蔵 (受贈元: 伊都多神社)	受贈	H27.7.2
平家女護島 六波羅清盛館	二曲一隻屏風 紙本着色	1		絵金蔵 (受贈元: 伊都多神社)	受贈	H27.7.2
平家女護島 六波羅清盛館 鬼界ヶ島	二曲一隻屏風 紙本着色	1		絵金蔵 (受贈元: 伊都多神社)	受贈	H27.7.2
姫小松子日の遊	二曲一隻屏風 紙本着色	1		絵金蔵 (受贈元: 伊都多神社)	受贈	H27.7.2
白描	紙本墨画	1		絵金蔵 (受贈元: 南家)	受贈	R4.2.14
横幟 (屏風仕立て)	四曲一隻屏風 紙本着色	1		石川 清仁	受託	R4.5.5
高砂図	六曲一隻屏風 紙本墨画	1		絵金蔵	受贈	R4.6.8
絵馬提灯 (掛け軸仕立て)	紙本淡彩	1		絵金蔵 (受贈元: 阿部家)	受贈	R5.8.24

# 絵金芝居絵屏風 本格修理事業について

絵金蔵のある香南市赤岡町には、絵金及びその弟子らが描いた芝居絵屏風 23 隻が現存しており、2009 年 3 月にはその全てが高知県保護有形文化財に指定されています。芝居絵屏風は現在は絵金蔵の収蔵庫に保管されていますが、作品の持ち主はこれまで絵金の芝居絵屏風を大切に守ってきました。

しかし、大切に守られてきたとは言え芝居絵屏風は描かれてから 160 年以上経過しており、年に数晩であれ屋外に露出展示することも相まって着々と傷みが進んでいました。一見色彩も美しく良好な状態に思えますが、小さな負担が年々降り積もり非常に危険な状態となっていたのです。所蔵者の方々は修理の実施を願いながらも着手できずに数年が経過していました。

そして 2019 年 4 月、長年の努力が実り、高知県と香南市の支援により美術品専門の修理工房での保存修理が決定。まず不慮の事故により既に修理が終わっている 5 隻を除いた 18 隻の応急修理を行い、その後 4 年間にわたって本格修理を実施いたしました。

この修理の実施により祭りで町に芝居絵屏風を並べるといふ絵金文化を守ることができ、後世へ文化をつないでいくことができます。本事業は赤岡に残る芝居絵屏風を対象としたものではありませんが、県内には各地に絵金やその弟子らによる芝居絵作品が残され、祭りに展示されたり、保管されたりと大切に受け継がれてきています。今すぐこれらに対して最適な処置を施すことは難しいかもしれませんが、できることを少しずつ進めるための足掛かりとして、本事業が文化財の在り方を考えるきっかけになることを願っています。

◎以下の補助・助成事業を受けました。

- ・高知県、香南市
- ・文化財保護活動助成 / 公益財団法人 朝日新聞文化財団
- ・美術品修復事業助成 / 公益財団法人 出光文化福祉財団
- ・文化財保存修復助成 / 公益財団法人 文化財保護・芸術研究助成財団

◎修理・調査

- ・独立行政法人国立文化財機構 東京文化財研究所
- ・株式会社修護

## 本格修理事業の流れ

### ① 応急修理

本格修理前に状態調査を実地。芝居絵屏風 18 隻が最後に修理されたのは昭和中期頃であり、それぞれ多数の損傷がみられました。そのため、修理にむけ東京の修理工房に輸送するためには、早急な応急剥落止処置の実施が必要であると判断し応急修理を行いました。



絵金蔵の闇と絵金の部屋で行われた応急修理は 2018 年 10～11 月にかけて行われ、作業の様子を一般公開いたしました。

### ②-1 本格修理 4 年計画

屏風層の解体を含む本格的な修理。芝居絵屏風 18 隻を 4 年計画で修理いたしました。

#### ◎ 2019 年度修理作品

- 花衣いろは縁起 鷺の段 (本町 2 区所蔵)
- 伊達競阿国戯場 累 (本町 2 区所蔵)
- 東山桜荘子 佐倉宗吾子別れ (本町 2 区所蔵)
- 播州皿屋敷 鉄山下屋敷 (横町 2 区所蔵)

#### ◎ 2020 年度修理作品

- 花上野誉石碑 志度寺 (本町 1 区所蔵)
- 浮世柄比翼稲妻 鈴ヶ森 (本町 1 区所蔵)
- 菅原伝授手習鑑 寺子屋 (本町 2 区所蔵)
- 木下蔭挟間合戦 石川五右衛門 (本町 2 区所蔵)

#### ◎ 2021 年度修理作品

- 源平布引滝 松波検校琵琶の段 (本町 1 区所蔵)
- 義経千本桜 鮎屋 (本町 4 区所蔵)
- 伊賀越道中双六 岡崎 (門脇家所蔵)
- 菅原伝授手習鑑 寺子屋 (よだれくり) (横町 2 区所蔵)
- 競伊勢物語 春日野小芳住家 (横町 2 区所蔵)

#### ◎ 2022 年度修理作品

- 伽羅先代萩 御殿 (本町 2 区所蔵)
- 蝶花形名歌島台 小坂部館 (本町 4 区所蔵)
- 東山桜荘子 佐倉宗吾子別れ (小龍) (本町 4 区所蔵)
- 楠昔噺 徳太夫住家 (横町 2 区所蔵)
- 忠臣二度目清書 寺岡切腹 (横町 2 区所蔵)

### ②-2 本格修理の工程

本格修理の工程を一部紹介します。伝統技術を受け継ぐ修理業者の手により美しくなった作品たちを次世代へ。



▲ 状態チェック



▲ 解体前の剥落止め



▲ 屏風装の解体 (解装)



▲ 汚れの除去



▲ 旧裏打紙の除去



▲ 下貼 (屏風下地の制作)



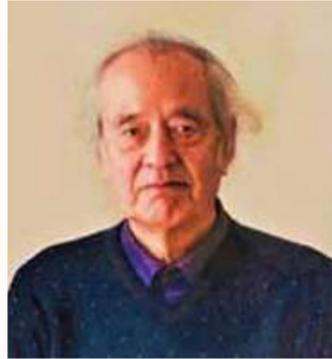
▲ 補修 (新補修紙の貼付)



▲ 補修紙への補彩後



▲ 修理完了



絵金蔵運営委員会  
顧問  
鍵岡 正謹

絵金蔵が開館して20周年を迎える。改めて保存会の方々をはじめ関係者に“持続する志”の協調を讃えたい。

絵金蔵の当初の目的が旧赤岡町の土佐芝居絵屏風を保存する、文字通りの蔵の役割でしたし、芝居絵屏風を大成させた絵師金蔵こと絵金を紹介することでした。そうして謎多き絵金を調査研究するために、弟子や孫弟子にひろがった祭礼としての土佐芝居絵屏風のそれが続けられ、多くの成果を得ました。学芸員の努力を多としたい。

現在、絵金の芝居絵屏風は絵画作品として日本美術史のなかで高い評価を得ています。今後も保存し祭礼が続けられ、調査研究も進められ、絵金文化とも云われる唯一無二の土佐芝居絵屏風が、日本のみならず海外にも知られることになると思います。また20周年を祝うように発掘された絵金こと弘瀬洞意筆高砂図屏風とともに、絵金蔵が絵金美術館に発展することを願っています。



絵金蔵運営委員会  
顧問  
梅原 真

はや20年ですか?!本当におめでとうございます!!

江戸に栄えた港町の長い歴史と共に、力強いコミュニティのある町。

この町で、いろいろと教えてもらいました。

年に一度「闇」を見るという奇祭。それは「人類」が考ねばならない「課題」を毎年与えてくれた夢の中の「時間」だった様な気がします。

今、東京のサントリー美術館で「絵金展」を開催中だとか。地方の小さな町からこの長い「課題」をプレゼンテーションしている様におもいます。

この町は大好きで、長い間この町のレトロなサンパツ屋さんに通っていました。

「小さなコトのよさ」がある町「あかおか」。ぼくはそう思っています。

「昔は未来」。重ねて「絵金蔵・開館20周年」おめでとうございます。



絵金蔵運営委員会  
顧問  
島中 洋行

開館20周年おめでとうございます。

「絵金蔵」が誕生するまでに、「赤岡探偵団」を行ったり「犬も歩けばあかおカルタ」を作ったり、銭湯「旭湯」を残すための本「犬も歩けば赤岡町」を販売したりとさまざまな取り組みが進められてきました。赤岡の魅力を再発見する中から、農協の米蔵を「文化の蔵」に再生し、赤岡のまちを巡り歩いてもらう拠点として活かそうと、まちの皆さんが参加するワークショップを重ね「絵金蔵」が誕生しました。米蔵を皆で掃除したり、使い方を検討するためにフォルクローレやジャズの演奏会などを重ねたことが楽しい思い出です。これからも「絵金蔵」を拠点として、ワクワクする取り組みを進めてほしいと思っています。



絵金蔵運営委員会  
顧問  
竹村 暢文

この度は絵金蔵開館20周年おめでとうございます。

私が子供の頃は、神祭には、お化けの絵が出ると思いながらも怖いもの見たさに、何回も友達と行った記憶があります。

現在の絵金が世に出たのは、昭和45年に高知出身の中平康監督が「闇の中の魍魎魎魎」の映画を製作したことがきっかけです。赤岡町を中心にして青年団や住民の人たちがエキストラになり協力し撮影したことで町が賑わいました。

撮影の後、昭和50年、赤岡小学校に屏風絵を集め、中平氏が企画し(株)光潮社が「絵金 EKIN」を限定で500冊売り出したこと、このことで浜口富治さんも近森敏夫さんも絵金が全国に知られると喜んでおりました。

平成2年11月に「情熱の町絵師土佐絵金総合展」が、町内の3会場で開催され、町絵師金蔵が生涯かけて描いた150余点が一挙に公開されました。

その後、歴代の町長をはじめ、議会、商工会、絵金屏風保存会関係者の努力もあり、最後に住民の意見を反映させるためにワークショップ手法で協議を行い、地域と一体的な「絵金蔵」が完成したと思います。

最後に、赤岡町只一人の名誉町民であり、高知県文化賞を受賞し、祭りではいつも絵金を語っていただき、現在の絵金読本を作成してくれた近森敏夫先生に感謝し、これからも益々絵金蔵が発展することを祈念して、お祝いのごとばいたします。



絵金蔵運営委員会  
顧問  
横田 恵

絵金蔵20周年おめでとうございます。

開館当初より「赤岡町内に残る絵金の芝居絵屏風と祭りの文化を守る」という使命のもと、絵金蔵運営委員会のみなさま方を中心に知恵を出し合いながら、施設の運営はもとより、さまざまな催し、調査研究、県文化財の指定、そして作品の修理まで、幅広い活動を20年間たえず行われてきました。結果、絵金蔵は香南市にはなくてはならない観光施設へと成長し、絵金は全国にさらにファンを増やし、高知を代表する文化資源と成長しています。長年に及ぶみなさまのご努力に深く尊敬の念を抱くとともに、私自身、僅かではありますが皆様の活動に参加できたことは光栄に思っています。

近い将来、県内全体で絵金の保存と祭りの継承が課題になってきます。絵金蔵は「県内の絵金と絵金文化を守り伝える中核施設」として、さらなる役割を期待されてくるはずで、今後、大きくフィールドを広げてさらにご活躍されることを応援しています。



赤岡絵金屏風保存会  
会長  
金澤 正寿

絵金蔵開館 20 周年おめでとうございます。  
思い起こせば 20 年前、皆様方の努力により絵金蔵が完成し、念願であった各地区の屏風絵を安全・安心に守れる場所ができました。また、学芸員さんによる調査が始まり、恒久的な修理の必要性が共有されました。紆余曲折がありましたが、一昨年、全作品の本格修理が終わり、後世に安心して残せるようになりましたこと、感謝しております。  
近年では、絵金蔵の活動のおかげで全国的に知名度が上がり、名のある美術館での巡回展示も始まり嬉しい限りです。  
今後も、保存会とともに益々発展、活躍していきましょう。



香南市市議会議員  
北岡 栄二

絵金蔵 20 周年の節目を迎えられることは、絵金屏風保存会の皆様や絵金蔵運営委員会の方々の、日頃からの絶え間ないご努力によるものであり、心からの深い感謝と喜びにたえません。  
顧みますと、旧赤岡町企画振興課長として平成 9 年より「絵金を核としたまちづくり」をテーマにした住民参加のワークショップを開催し、約 10 年間の長きにわたり関わってきました。  
その間には、絵金屏風絵の保存を最優先にした、絵金蔵の建設位置、予算規模、建物の構造（赤岡農協の米蔵の活用）、屏風絵の展示方法（本物とレプリカ）、弘瀬金蔵の生涯の紹介など、建築家やデザイナーからの指導助言、そして何よりも保存会や地域住民の皆様の「熱」が完成後の管理・運営を住民参加で行うことまで見通され、基本設計と実施設計へと繋がった事を思い振り返りました。  
また話し合いが長く続いたことで、「いつになったら日の目を見られるのか」と、再三のお叱りも受けたことも懐かしい思い出です。  
平成 17 年の 2 月に開館し、20 周年のこの間、数々の企画展示、イベント、地域との連携などを通して、絵金蔵が香南市の文化・観光の拠点としての役割を果たして来たと思います。  
今後とも、絵金蔵の「光」を県内外に発信し香南市の発展と来館者の心に感動と衝撃、満足感を与え続ける施設としてさらなる発展を目指してほしいと思います。



香南市市議会議員  
片山 透

絵金蔵開館 20 周年、誠にありがとうございます。  
絵金蔵運営委員会の皆様を始め、これまで運営に携わっていただきました多くの関係者の皆様に深く敬意と感謝を申し上げます。  
絵金蔵が開館されてまもなく、当時小学校入学前の長女を連れて、訪問させていただきました。先を照らす提灯を持ち、緊張しながら進んでいく長女の姿を憶えています。  
また、作品の制作に取り組む絵金の木像が、とても力強く、みなぎる意欲が表れているように感じました。  
今後におかれましても、絵金文化の伝承と、広く地域と次世代への縁結びにご尽力賜りますようお願いいたしますとともに、絵金蔵のますますのご発展と、関係者の皆様のご健勝を心からお祈り申し上げます。



弁天座運営委員会  
会長  
入野 節雄

このたびは、「絵金蔵 20 周年」誠にありがとうございます。  
思い返せば平成 17 年、赤岡町に残る絵金さんの屏風絵を守りたい、赤岡の町を元気にしたいという熱い思いから、多様な活動を行ってきた皆さんの努力が「絵金蔵」開館につながりました。その運営は地域の住民が主体となる運営委員会による指定管理方式で行われており、非常にご苦勞されたことと思います。  
絵金蔵の活躍は、後に続く弁天座の励みとなっており、これからも良き先輩として一緒に香南市を盛り上げていきたいと考えています。  
最後になりましたが、絵金蔵運営委員会の皆様、そして日々の活動を支えているボランティアの皆様に敬意を表します。  
今後ますますの発展を祈念して、お祝いの言葉とさせていただきます。



土佐絵金歌舞伎伝承会  
会長  
谷岡 信彦

絵金蔵 20 周年記念おめでとうございます。  
絵金祭りの夜、商店の軒先に飾られ百目蠟燭の灯りで鑑賞されてきた絵金屏風絵を地域の有志や屏風絵を所蔵していた方々の末永く保存していきたいとの思いで、20 年前に絵金蔵が完成しました。これまで維持して下さった関係者の皆様のご苦勞ご努力に深く感謝いたします。  
私共、土佐絵金歌舞伎伝承会はこの絵金屏風絵に描かれている歌舞伎を演じております。ですから、絵金蔵とは深く結ばれている関係と思っております。  
これからも、大変だとは存じますがよろしく願いいたします。  
土佐絵金歌舞伎のほうもできることがあれば協力を惜しみません。  
結びに絵金蔵関係者の皆様ご家族のご繁栄ご多幸をお祈りし挨拶に代えさせていただきます。



高知県立美術館  
学芸員  
中谷 有里

開館 20 周年、おめでとうございます！ 私が東京から高知に移住したのが 10 周年の前年の夏祭りの時。何もわからない私に、運営委員会会長の浜田義隆さん、当時の蔵長の横田恵さん、副蔵長の福原僚子さんが温かくご指導くださったのが昨日の日のことのように。その後 10 年、芝居絵屏風群修復の大事業や、コロナ禍の困難を乗り越え、今日ふたたび絵金が高知県内にとどまらない一大ブームを巻き起こしているのは、ひとえに絵金の保存と伝承・普及の拠点として、絵金蔵を代々受け継いで来られた皆様のひとかたならぬご尽力あってのこと。絵金の輪を広げ未来へ繋いでいくご活動が今後も益々発展しますよう、心よりお祈り申し上げます。



吉川染物店  
吉川 毅

絵金蔵開館 20 周年、まことにありがとうございます。  
この喜びの節目を迎えられましたことは、いずれも赤岡町の絵金を愛する蔵スタッフとボランティアとして協力して下さる皆様の、情熱とご努力の賜物と、心よりお喜び申し上げます。  
私は開設時より絵金蔵とお付き合いをさせていただいておりますが、20 年を過ぎた今でも皆様の情熱が変わらず旺盛であることには、驚きと尊敬の念を禁じ得ません。  
今後もその情熱が絵金の魅力を益々世に広げることにつながり、次なる節目の 30 周年もその先々も、ともに迎えられることを願っております。



特定非営利活動法人  
すてきなまち・赤岡プロジェクト  
副代表理事  
北山 めぐみ

高知の豊かな風景や文化を未来へつなげたい——そんな思いから赤れんが商家と出会い、赤岡に関わるようになって早くも十年が過ぎました。絵金の芝居絵屏風は県内各地に伝わりますが、赤岡では商店街の町家の軒下に飾られ、独特の祭礼風景を今に伝えていきます。この継承には、屏風絵を守る努力と、365 日の暮らしを支えるまちの営みが欠かせません。保存が難しい屏風絵を守り続けてきた絵金蔵の 20 年と、舞台となる商家を大切に使い継いできた地域の方々の時間が結びついてこそ、絵金文化は息づいています。赤れんが商家もまた、その一端を担えるようにと思い活動してきました。まだまだ多くの課題を抱えつつも、次の 20 年へ力を合わせて歩みたいと思います。この度は絵金蔵 20 周年、誠におめでとうございます。



馬駝夢  
澤田 美枝

平成 9 年より「絵金を核としたまちづくり」のワークショップでの話し合いで、赤岡の素晴らしさに目覚めた私達。絵金芝居絵屏風を愛し、赤岡の古民家の魅力に気が付いた。  
昔からあった農協の米蔵で色々なコンサートをし、ここを絵金の美術館にしたいと努力しました。その結果、当時の赤岡町が農協の米蔵を改装し収蔵庫も併設した絵金蔵を作ってくださいました。  
平成 17 年 2 月 11 日。絵金蔵開館の日は 本当に感激した事を今でも思い出します。  
赤岡の商店街は昔と違い商店が少なくなり寂しくなりましたが、絵金蔵に来てくださる県内外のお客様が絵金蔵で差し上げている赤岡の地図を持って歩いている姿を見ると本当に嬉しく思います。  
これからも、絵金蔵運営委員会理事として絵金蔵と香南市、赤岡の町を盛り上げていきたいと思っております。この 20 年の皆様のご協力に感謝申し上げます。

▼開館 20 周年記念イベントの様子



ごめん・なはり線キャラクター集合

獅子舞

ごあいさつ

鏡開き

20mの寿司巻き

下座音楽と和楽器の説明

浄瑠璃の生演奏

